

《方針3》 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

〔施策の柱1〕 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

施策名	① 生涯を通じた学びの場の充実																							
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 51																		
	A																							
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりセンター講座は、市民団体等が企画運営する「市民プロデュース講座」や自主グループが企画運営する「オープン自主グループ講座」、民間事業者が企画運営する「みんカル講座」、生涯学習人材バンク登録講師を活用した「人材バンク講座」を162講座実施した。 まちづくりセンター講座を受講し、学ぶ意欲が高まった参加者の割合は、94.1%となった。</li> <li>・市民大学前期ミニカレッジは、5科目を実施し、計245人が受講した。</li> <li>・市民大学後期講演会は、全5回を開催し、実人数として879人が受講した。</li> </ul>																								
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる市民の多様な学習ニーズに応えるため、様々な分野のまちづくりセンター講座を実施していく。</li> <li>・市民大学についても、引き続き、豊かな人づくりを目指し、高度で専門的な知識を学ぶ場を提供していく。</li> </ul>																								
<p>◆指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> <th>R 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合</td> <td>60%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td>↑100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>94.1%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合	60%	100%			↑100%		94.1%				
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
講座を受けたことによって、学ぶ意欲が高まったと回答した参加者の割合	60%	100%			↑100%																			
	94.1%																							

施策名	② 地域ぐるみの社会教育の推進																							
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 52																		
	A																							
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が地域に関心を持ってもらう機会を創出することを目的とした「人づくり講座」を124講座実施した。 まちづくりセンター講座を受講し、地域の魅力や課題を知ることができた参加者の割合は91.8%となった。</li> <li>・家庭教育に関わる人材のネットワークづくりを目指し、初めての取組として、家庭教育支援員等による「家庭教育支援交流会」を全4回開催した。</li> </ul>																								
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に関する学習や地域の人材を活用した「人づくり講座」を引き続き実施していく。</li> <li>・家庭教育支援員等、家庭教育に関わる人々へ学習機会の提供や交流の場づくりを継続して行っていく。</li> </ul>																								
<p>◆指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 4</th> <th>R 5</th> <th>R 6</th> <th>R 7</th> <th>R 8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合</td> <td>60%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td>↑100%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>91.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合	60%	100%			↑100%		91.8%				
	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
講座を受けたことによって、富士市・地域の魅力や課題を知ることができたと回答した参加者の割合	60%	100%			↑100%																			
	91.8%																							

施策名	③ 新たな時代を生き抜く次世代の育成					
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 53
	B					
◆取組実績（成果と課題）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年体験交流事業「キズナ無限∞の島」は、令和4年8月3日（水）～7日（日）の4泊5日の日程で実施予定であったが、富士市及び宮城県での新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、中止とした。</li> <li>・「キズナ無限∞の島」の後継事業は、青少年体験交流事業懇話会にて検討を重ね、社会教育委員会議、市長・副市長と教育長・教育委員との意見交換会での議論を経て、決定した。</li> <li>・雫石町少年交流事業は、令和4年7月27日（水）～30日（土）の3泊4日の日程で実施予定であったが、雫石町より新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、中止の申出があったため中止とした。</li> </ul>						
◆次年度への展望						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年体験交流事業は、名称を「キズナ無限∞の島」から「無限∞のキズナ」へ変更し、研修地を長野県伊那市周辺とし、研修内容を更に魅力的にし、研修生の成長に繋がるような内容として実施する。</li> <li>・雫石町少年交流事業は、令和4年度中止となったことから、令和5年度も雫石町の児童が富士市を訪問し、お茶プログラムなどの体験学習を行う。</li> <li>・ANAグループとの協働により、航空関連のキャリア教育プログラム「ミライつく～る」を実施する。</li> </ul>						
◆指標						
体験交流事業参加者の満足度（雫石町少年交流事業、青少年体験交流事業の満足度）		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
	目標	100%	100%			100%
	実績	－%				

**〔施策の柱2〕 市民の学びの場である図書館の充実**

施策名	① 生涯にわたる読書習慣の推進																								
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 55																			
	B																								
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍貸出サービス「ふじ電子図書館」の提供を開始した。利用時間に制限がなく、また来館の必要なく本が借りられるサービスの導入により、図書館利用の利便性向上と読書活動の推進を図った。</li> <li>移動図書館車を更新し、2台体制としたことにより、巡回場所・回数を拡充する準備を進めた。</li> <li>講演会・講座・おはなし会については、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、予定していたイベント等をほぼ開催できた。</li> <li>実績の数値は貸出点数が1,777,961点(電子書籍含む)であり、指標は総人口248,368人(R5年4月1日現在)から算出した。資料貸出点数は前年度1,942,902点に比べて8.5%の減となった。</li> <li>利用者のレファレンス*については、33,773件と、前年度の35,181件に比べ4%の減となった。</li> </ul>																									
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書の構成と市民のニーズを考慮した資料収集を行い、さらに、県内図書館や国立国会図書館等から借用することにより、より幅広い分野の資料や専門性の高い資料の提供を行う。</li> <li>市民の課題解決のためレファレンス用資料を充実させるとともに、研修により職員のレファレンス技術の向上に努める。</li> <li>週末の「にぎわい図書館デー*」実施の継続、おはなし会や子供向けのイベントの開催、おすすめ本の情報発信、電子書籍の利用等により、子供の読書活動の推進を図る。</li> <li>定期的な広報紙や各種新着資料案内等の発行、ウェブサイトによる情報発信など、様々なメディアを活用してPRを積極的に行う。</li> </ul>																									
<p>◆指標</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">1人当たりの図書貸出数</td> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> <td>R 8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>7.4点</td> <td>7.4点</td> <td></td> <td></td> <td>8.2点</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>7.2点</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							1人当たりの図書貸出数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	目標	7.4点	7.4点			8.2点	実績	7.2点				
1人当たりの図書貸出数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
	目標	7.4点	7.4点			8.2点																			
	実績	7.2点																							

施策名	② 本・人・地域をつなぐ人材育成																								
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 55																			
	A																								
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視覚障害者に提供する図書を製作する技術向上のため、新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた講座や勉強会を以前の水準に戻し、音訳講座を4回、点訳講座を2回開催した。</li> <li>読み聞かせボランティアについては、これからボランティアを始めたい人のために「読み聞かせデビュー講座」を開催し、また、ボランティアの技術向上を図るため、「わらべうた・手遊び講習会」を2回開催した。</li> </ul>																									
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音訳ボランティア、点訳ボランティアとともに、技術向上のための講座や勉強会を引き続き開催する。また、ボランティアの新規の参加を促すため、図書館でのボランティアの活動について積極的に広報する。</li> <li>読み聞かせボランティアグループ「富士・子どもの本を学ぶ連絡会」による「本はともだち子どもまつり」を図書館で開催し、日頃のボランティアの学習の成果を発表するとともに、地域での活動をPRする。</li> <li>「読み聞かせボランティアデビュー講座」「ストーリーテリング入門講座」を開催し、読み聞かせボランティアとして活動できる人材を育成する。また、引き続きボランティアの技術向上を図るための講座を開催する。</li> <li>規模を縮小して行っていたブックスタートふじ事業へのボランティアの参加を再開するため、研修会を開催する。</li> </ul>																									
<p>◆指標</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">ボランティア養成講座の参加者数</td> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> <td>R 8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>160人</td> <td>180人</td> <td></td> <td></td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>176人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							ボランティア養成講座の参加者数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	目標	160人	180人			200人	実績	176人				
ボランティア養成講座の参加者数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
	目標	160人	180人			200人																			
	実績	176人																							

〔施策の柱3〕 ころ豊かな市民文化の創造

<b>施策名</b>	② 文化財の保存と活用																								
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 58																			
	B																								
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2～3年度にかけて策定した文化財保存活用地域計画について、6月に認定申請を行い、7月に文化庁の認定を受けた。また、本計画内容や今後の取組について広く市民に伝えることを目的に、3月に認定記念講演会を開催した。</li> <li>市指定史跡「千人塚古墳」整備のため、保存活用計画に基づき、基本設計を行うとともに、整備用地隣接地の寄附を受けた。また、官地取得に伴う調整を行い、時効取得の申請を行った。</li> <li>市民歴史講座を開催し、市民に広く身近な歴史や文化財への理解を深めてもらうため、計6回の市民歴史講座を開催した。</li> </ul>																									
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市指定史跡「千人塚古墳」の保存活用計画に基づき、整備工事の実施設計を行う。</li> <li>国指定史跡「浅間古墳」について、令和5～6年度の2か年で保存活用計画を策定する。</li> <li>上記事業を推進するため、富士市附属機関条例に基づき富士市史跡保存整備委員会を設置する。</li> </ul>																									
<p>◆指標</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">文化財普及活動に参加した人数</td> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> <td>R 8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>200人</td> <td>200人</td> <td></td> <td></td> <td>700人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>131人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							文化財普及活動に参加した人数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	目標	200人	200人			700人	実績	131人				
文化財普及活動に参加した人数		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
	目標	200人	200人			700人																			
	実績	131人																							

<b>施策名</b>	③ 学びの場である博物館の充実																								
総合評価	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	第二次教育振興基本計画 P. 58																			
	B																								
<p>◆取組実績（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NHK大河ドラマとタイアップして時宜に応じた企画展を開催した。併せて関連イベントとして、講演会や体験講座、フィールドワーク、ギャラリートークを実施し、好評を博した。</li> <li>展示会に関連したイベントや、県指定文化財「旧稲垣家住宅」を活用した事業では、感染症対策をとりながら1日に2回開催するなど、内容や手法を工夫して実施した。</li> <li>利用者数及び学習支援等の件数については減少したが、特別展示室では5つの展示会、展示室2では5つの特集展示、加えて26回の講座・体験学習などを計画どおり実施できた。</li> </ul> <p>※利用者数 57,013人（1日平均190人・利用者累計1,911,816人）対前年度比867人減</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第59回企画展「河東をめぐる戦国時代」ほか4つの展示会を実施</li> <li>古代人の暮らし3講座（ミニミニはにわ作り、縄文土器作り、土玉ペンダント作り） 参加者数 50人</li> <li>旧稲垣家住宅活用教育普及事業（かまど飯を食べよう！、戦時中の食事、ほか2事業） 参加者数 61人</li> <li>旧稲垣家住宅活用イベント（工芸まつり、おんがく会） 参加者数 1,950人</li> <li>博物館の日（4、6、8、10、12、2月実施） 参加者数 994人</li> </ul>																									
<p>◆次年度への展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の博物館としての役割を踏まえ、小中学校との連携強化に取り組む。</li> <li>魅力ある展示会や体験講座を実施する。</li> </ul>																									
<p>◆指標</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">博物館資料を活用した学習支援の件数 (児童生徒・高齢者の見学、体験学習、出前講座ほか)</td> <td></td> <td>R 4</td> <td>R 5</td> <td>R 6</td> <td>R 7</td> <td>R 8</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>132件</td> <td>70件</td> <td></td> <td></td> <td>165件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>69件</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							博物館資料を活用した学習支援の件数 (児童生徒・高齢者の見学、体験学習、出前講座ほか)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	目標	132件	70件			165件	実績	69件				
博物館資料を活用した学習支援の件数 (児童生徒・高齢者の見学、体験学習、出前講座ほか)		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8																			
	目標	132件	70件			165件																			
	実績	69件																							